

# 地 域 再 生 計 画

## 1. 地域再生計画の名称

ふるさと再生ネットワークづくり計画

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

新潟県

## 3. 地域再生計画の区域

柏崎市の全域

## 4. 地域再生計画の目標

柏崎市は新潟県のほぼ中央に位置し、県内の主要都市である新潟、長岡はもとより、関東・関西までをも結ぶ高速道路及び、国道8号・116号が海岸と平行に南北に縦貫している。また、市内は海岸部近辺の比較的人口が集中している市中心部と、農林業を中心に営んでいる内陸側の平野部及び中山間地で形成されているが、市中心部については国道の整備等、交通の利便性が益々高まることにより、都市としての発展が著しい一方、中山間地等の農村部においては、農林業の発展が停滞しているなど、地域としての一体的な発展を図るためには、市中心部とのネットワーク形成による農林業の活性化が望まれている状況にある。

当地域内の農林業については、平野部においては水稻を基幹とした農業が中心に行われ、畜産、野菜、果樹の複合経営を営んでおり、コシヒカリを中心とした銘柄米品種の作付け拡大と良質米生産に努めると共に、転作対応から売れる作目への取り組みが積極的になされている。また、中山間地においては水上地区を中心に官行・公団・公社・生産森林組合による造林地が多く存在し、地元生産森林組合や農林公社が中心となって、古くから造林・保育等の森林施業の取り組みが積極的になされている。

しかし、近年の市中心部の発展による一般車両通行の増加に加え、農林業の近代化や生産性の向上に伴う農業交通の増加も著しく、生産地と流通拠点や加工基地への農林産物の流通に支障をきたしている状況となっている。また、中山間地においては近年、過疎化・高齢化による担い手不足が進行しており、間伐等の施業が必要となっている造林地での手入れ不足森林の増加が問題となっている。

このため、県においては中山間地について柏崎市森林整備計画を策定し、それぞれの森林が有する機能を将来に渡り継続して高度に発揮させ、健全で活力のある森林整備を推進するための基本方針を確立する等の取り組みを行っている。今回、地域再生計画により、地域の重要なインフラである農林道の効率的なネットワーク整備を行い、

市中心部等の流通拠点への円滑な農林産物流通の確保、及び山間造林地での大型機械導入の実現等による森林整備の拡大を図ることとし、これらを合わせ「ふるさと」と呼ばれる農村地域の農林業の振興等を通じた地域の活性化を目指すものとする。

(目標1)農林道整備による農林産物流通の改善(流通拠点へのアクセス時間 20%短縮)

(目標2)林業の振興と地域環境の改善(間伐等実施面積 30%増加)

## 5. 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

柏崎市南部の中山間地である折居地区を起点とし市中心部に向かって延びる「広域農道柏崎線」(平成13年7月4日、土地改良事業計画確定)の水上地区の一部区間を整備し、農産物の物流効率化を図る。また水上・石曽根地区等の大規模な造林地がある山間地において「林道(森林基幹)黒姫山線」(平成10年4月1日、中越計画区の地域森林計画に登載され事業認定)の開設を行うことにより森林へのアクセスを確保し、森林施業の効率化と間伐等が遅れている森林の解消を図る。

### 5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

#### 道整備交付金を活用する事業

#### (1)広域農道

- ・事業主体 新潟県
- ・事業区域 柏崎市
- ・事業期間 平成17～21年度
- ・事業費 1億8千9百万円(うち交付金 9千4.5百万円)
- ・整備量 0.6km

#### (2)林道

- ・事業主体 新潟県
- ・事業区域 柏崎市
- ・事業期間 平成17～21年度
- ・事業費 5億4千万円(うち交付金 2億7千万円)
- ・整備量 2.7km

### 5 - 3 その他の事業

#### ・森林整備事業

公社・生産森林組合造林等における間伐・保育等の実施により森林の適正な整備を推進する。

6. 計画期間

平成 17 年度 ~ 21 年度

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4 に示す地域再生計画の目標については、新潟県において計画終了後に必要な調査を行い状況を把握するとともに、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行う。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし。